

『資源ごみ』は地域のタカラ!!

『燃えるごみ』の中に『資源ごみ』は混ざっていませんか？

「資源ごみ」とは・・・
「紙パック」、「新聞紙」、「段ボール」、「布類」、「その他紙類」は資源ごみとしてリサイクルできます。何気なく捨てている「燃えるごみ」の中に「資源ごみ」が多く含まれています。資源としてリサイクルしましょう。



▲布類 ▲ダンボール

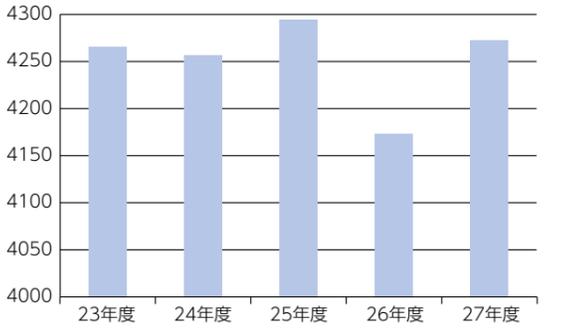


紙パック・新聞・段ボールなどは「資源ごみ保管用施設」に!

▲新聞紙



▲紙パック ▲その他紙類



ごみの減量化に協力ください!!
平成27年度の1年間に町から出されたごみの量は、4,273トンと平成26年度よりも99トン増えています。
「燃えるごみ」の中には、資源ごみとしてリサイクルできる紙袋、包装紙、菓子箱、ラップやトイレットペーパーの芯など「その他紙類」が多く混ざっています。
「混ぜればごみ、分ければ資源」です。一人一人の心がけが、ごみの減量化につながります。ごみ袋に入れる前に、もう一度確認してみてください。

益城・熊本市の「災害ごみ」処理・ごみ減量化への協力
ありがとうございます
4月14日に発生した「熊本地震」により甚大な被害を受けた益城町および熊本市の災害ごみ(燃えるごみ)を4月25日から、名石浜の清掃施設・クリーンパークファイブで1日あたり10トン受け入れられました。町民の皆さんのご協力により、災害ごみをスムーズに受け入れ、処理することができました。ありがとうございます。引き続き、町民の皆さんのごみ減量化にご協力をお願いします。
【4月25日～6月10日間の処理量】
◇益城関係分 186.9トン(31日間)
◇熊本市分 82.4トン(8日間)

各区の「資源ごみ保管用施設」に出しましょう!!
町では27の行政区で資源ごみ保管用施設を設置しています。
平成27年度は、この27行政区で330トンの資源ごみを回収し、約283万6千円が行政区や各種団体の運営費などに充てられています。
紙パック、新聞紙、段ボール、布類、その他紙類などは、区の「資源ごみ保管用施設」に出しましょう。
◎住民環境課 環境対策推進係
☎(78) 3122

まちのちから!

児童の学力向上を目指して!
～ながす寺子屋学習塾開講～

腹赤小学校区
清源寺区公民館



6月9日(日)、町と地域が連携して児童の学力向上を目指す「ながす寺子屋塾」が町の新たな試みとしてスタートしました。
同塾は腹赤小学校4～6年生の児童を対象として、清源寺区公民館を利用して毎週木曜日の放課後に無料で学習機会を提供し、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図ることを目的としています。

この日、参加した児童たちは、派遣された2人の元教員や教員を目指す大学生から宿題や算数を楽しむことができました。
今年度はモデル事業として、腹赤小学校で開始されているが来年度以降、町では全4校に拡大していく予定です。

広報ながす7月号目次

- 02P まちのちから!
- 03P 「資源ごみ」は地域のタカラ!!
- 04P 参議院議員通常選挙
- 06P まちの話題
- 08P 暮らしの情報
- 12P 来てみなっせ 金魚と鯉の郷広場
- 13P ながす企業レポート JMUビジネス・サポート株式会社
- 14P 生涯学習コーナー
- 16P ながす未来館
- 18P 社協だより もやい
- 22P 保健・子育て情報
- 26P 青春の一コマ
- 27P ぼくの夢わたしの夢
長洲小 永田 成穂さん
- 28P 教育ながす
- 36P Focus 大塚 賢哉さん

今月の表紙
寺子屋学習塾

6月9日、清源寺区公民館にて、ながす寺子屋学習塾が開講され児童たちは早速、学習に積極的に取り組みました。

人の動き population dynamics

人口	16,373人	(3人増)
男	8,018人	(1人減)
女	8,355人	(4人増)
世帯数	6,945	(2減)

平成28年5月末日現在 ※()内は、前月比